

令和6年度公開保育のご案内

「自発的に行動する子ども」

お食事の時間

～ひとりでできるもん！～

<きいろぐみ1.2歳児編>

- 1,日 時：令和6年11月1日（金）午前10時30分～11時45分
- 2,場 所：認定こども園にっここどもの家 1階保育室
- 3,内 容：10：20～受付
10：30～保育説明
10：50～保育参観
11：10～意見交換、評価票の記入
11：50 終了
- 4,駐車場：園舎西側（一日町公園側）をご利用いただき、北側玄関よりお越しください。



<きいろぐみのお食事の様子>



2歳11か月児

「自分の席までお味噌汁を運べるの。」
ぶつからないように
目的地を目指してゆっくり歩きます。
両手でしっかりお椀を持っています。



3歳4か月児

「今日のおかずは何だろう」
わくわくしながら、
自分の食器を選んで運びます。
こぼさないように慎重に運んでいます。



2歳3か月児

子どもサイズの軽い椅子を準備しています。
「お食事するときは椅子を運ぶんだよ。」
「かっこいいでしょ。」



1歳7か月児

「僕の席はここだよ。」
「先生見ててね。一人で座れるよ。」



2歳2か月児

揃ったら手を合わせて
「いただきます。」
「ほら、一人でできたでしょ。」
「美味しそうだなあ。」

令和6年度 認定こども園にこにこ子どもの家 公開保育

園全体の保育年間目標 「自発的に行動する子ども」
園全体の重点目標 「一人でできることをふやそう！」
保育年間目標 きいろぐみ（1．2歳児） 保育士に援助されながら、基本的な生活習慣が身につく。 安心できる保育士等との信頼関係を築きながら、安全な環境の下で生活や遊びに取り組む。
「お食事の時間」の具体的な目標 食事を摂取するだけが目標ではなく、食事の時間の様々な行程の自発的行動を目指す。

<4月当初の子どもたちの様子>

1歳児	2歳児	保育者との信頼関係
新入園児と0歳児から進級した園児もいるため、食材をボロボロこぼしたり、椅子にじっとしてられない。テーブルに足を入れられない。集中が続かない。食事のご挨拶の練習をしていく。	これまでの積み重ねを感じる。しかしこれまでできていたことも、新しいクラスになり、落ち着きが見られない。お食事セット(箸、おしぼり、ランチョンマット)の紹介をする。	新クラス、新担任になり子どもたちに戸惑いが見られる。まずは活動を共にしてボディタッチなどを増やして積極的に関係をとっていく。職員が同じお食事セットを準備し使って見せる。興味を持った子から「同じものを使ってみる？」と声をかける。

<これまでの取り組みについて>

1歳児	2歳児	保育者との信頼関係
縦割りクラスの良さを生かして2歳児の行動を見せる。隣りで一緒に食べる保育者の姿を見せる。保育者に援助されながら「運ぶ」「配膳する」「食器を空にする。」ということを目標にする。	できることが増えたのでステップアップしていく。椅子を使用することから正座で食べるようにする。お食事セットを使いこなせる。こぼした時は雑巾等を用いて片付ける。食後のパジャマに着替える行動に自発的に取り掛かる。	肯定的な捉え方をしていく。特に言葉がけについては、取り掛かろうとした時に肯定的な言葉をかける。子どもの行動をほめる。一人の子だけでなく周囲の子も聞いていると考える。

<今後について>

1歳児	2歳児	保育者との信頼関係
保育者の援助、声掛けがなくとも行える。左手を使えるようになる。2歳児に向けてお食事セットを準備していく。食事の挨拶は手を合わせて声を発して伝える。	困ったときに助けを求めることが出来る。食後は自発的に片付ける。部屋を出て、次の行程のパジャマを取りに行き替える行動に移る。職員とのアイコンタクトに安心する。	過剰に褒めたりせずに、アイコンタクトで「それでいいよ。」と合図を送る。子どもと距離を意識する。

私たちは、常に子どもの成長に気を配り**観察**することを忘れない。そして、子どもの成長をチームで**共有**することがいかに大切であるかということを常に意識している。子どもの成長は私たちが作った**整った環境**によって変化する。年齢にこだわらないひとりひとりを見つめていく**モンテッソーリ教育**。私たちが立てた目標を子どもの成長は超えていくものと考えている。貪欲に目標を掲げ、子どもたちの伸び行く成長の援助者として努めていきたい。